

放送ライブラリー公開番組＜新緑＞

※8階視聴フロアで視聴できます

＜テレビ番組＞				
番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
001928	自然のアルバム 森 花ざかり (神奈川県箱根)	NHK 16分 1980/6/1	ドキュメンタリー	四季の変化に富んだ日本列島の海や川、森や山に生きる珍しい生物や身近な生物を主人公に、その知られざる生態を克明に記録し、自然の美しさや大切さを伝えようという自然科学番組。◆新緑が美しい春から夏の箱根を訪ね、ヤマザクラ、コブシなどの花が山々に咲き乱れる様子を紹介する。箱根は暖帯林と温帯林の境界にあたり、植物の種類も多く、また標高差により花前線は3週間の違いがある。麓では初夏の花も混ざっている一方、山頂では初春に見られるヒメイワカガミが咲き、シキミ、ミズキなどが美しい。
001696	国宝への旅 天狗の山の毘沙門天 京都・鞍馬寺	NHK 29分 1986/6/19	教育・教養	新緑の鞍馬山に作家の高城修三さんが毘沙門天を訪ね、鞍馬独特の神秘的な雰囲気の中にその魅力を探る。◆毘沙門天は四天王(仏法を守護するインドの神である持国天・増長天・広目天・毘沙門天の総称)の一つで「多聞天」ともいわれ、北方守護の武神として崇拜されている。日本での信仰は全国的で、鎌倉末期にはすでに七福神の一つに数えられ、特に鞍馬寺のものは著名である。「表情が良いし、動きもある。こうやって向きあっているとすごい力を感じる」と高城さんは語る。
001724	国宝への旅 深山に朱く女人高野 奈良・室生寺	NHK 29分 1988/5/26	教育・教養	新緑にたたずむ室生寺の五重塔や仏像を紹介し、記録映画作家の羽田澄子さんが女たちの祈りの跡をたどる。◆かつて女性は多くの仏教の聖地への立ち入りを拒まれてきた中で、室生寺は女たちの心を受け止めるかけがえのない寄り所だった。金堂の釈迦如来は、黒漆で塗られた端正な顔立ちでカヤの一木造り、平安時代始めの作である。ここで女たちは子に恵まれ、乳を授かるよう祈ったのだらうと羽田さんは考える。創建当時のものと考えられる朱色の五重塔の高さは15メートル余りで、女人高野にふさわしく日本最小の可憐な塔である。
900429	四季・につぼん 新緑～茶摘みのころ 静岡・川根町	NHK衛星第2 10分 1995/5/29	ドキュメンタリー	お茶どころ静岡県でもとりわけ良いお茶がとれる川根。5月の連休明けとともに一番茶の摘み取り作業が最盛期を迎える。手で摘むのは何よりもお茶の質を守るため、朝早くから柔らかい新芽を摘みとる作業をしている人に苦労と喜びを聞く。また、東海道本線金谷駅を起点に、本川根町(ほんかわねちょう)の終着駅までおよそ40キロはSLの旅を楽しむ。
900430	四季・につぼん 新緑～武蔵野 大けやきの町 東京・練馬	NHK衛星第2 10分 1995/5/30	ドキュメンタリー	東京都練馬区は緑豊かな町で、未だに屋敷林が残されている。この町のシンボルはケヤキ。ケヤキは高さ30メートル近くにもなるので屋敷林に適している。国の天然記念物になった白山神社の大ケヤキや、境内の樹齢7百年以上ともいわれる巨木などの大ケヤキが多い。「百年先、二百年先のために自然を残さなければ」という練馬の願いは「光が丘のけやき並木」となった。
900431	四季・につぼん 新緑～伊豆わさび田の初夏 静岡・天城湯ヶ島町	NHK衛星第2 10分 1995/5/31	ドキュメンタリー	新緑の季節、わさびの緑が一きわ色鮮やかで目にしみる。原生林に生まれた清流が25メートルの落差を激しく下り落ちる浄蓮の滝、滝つぼでは、鮎の解禁を待つ人がニジマス釣りを楽しんでいる。浄蓮の滝の前の老舗のわさび漬は、香りと心地よい刺激がツンと鼻をつく。伊豆を代表するわさび所、天城湯ヶ島棚場のわさび田は、収穫作業がピークを迎えていた

放送ライブラリー公開番組＜新緑＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
900432	四季・にっぽん 新緑～保津峡舟下り 京都・亀岡市	NHK衛星第2 10分 1995/6/1	ドキュメンタリー	亀岡-嵐山間16キロを船で結ぶ保津川下りは、江戸時代初めに京の商人が水路を開き、四百年近く受け継がれてきた。舟下りの技と心、船頭たちの船さばきはますます冴えを見せている。◆トロッコ列車が川下りと並ぶ保津峡の風物史となっているが運転開始は僅か4年前のこと。川下りの船と速度を合わせて走ることでもあるという。溢れる緑の中を縫って、船頭たちはきょうも保津川下りの船を操る。
900433	四季・にっぽん 新緑～棚田と鯉と闘牛と 新潟・山古志村	NHK衛星第2 10分 1995/6/2	ドキュメンタリー	全国有数の豪雪地帯の山古志村(やまこしむら)は、雪消えと同時に山が緑になっていく。ブナ林に囲まれるように山の斜面に棚田が広がっている。「ウツギが咲くと苗を植える」というのが習わし。棚田は機械が入らずすべて手作業となるため5月は忙しい。闘牛は、千年の歴史がある伝統行事。5月から11月まで毎月1度開かれるが、伝統行事としての面を重んじ勝敗は決めない。もう一つの名物は錦鯉。棚田を利用して造られた養殖池に、見込みのある若い鯉を放流する。せり市も週一回開かれ、県内外から愛好者や業者が集う。
900434	四季・にっぽん 新緑～飛騨 木の心人の心 岐阜・高山市	NHK衛星第2 10分 1995/6/12	ドキュメンタリー	飛騨高山は6時半から朝市が立つ。農家の人によって新鮮な野菜が売られている。◆オークビレッジでは木工製品を作っている。また森林匠塾を開いて、木工の技術を教えるだけでなく、木そのものを深く理解させる目的で若木を育てさせている。◆一刀彫の組合では20年前から植林を進めている。大きなイチイの木は地元にはなくなっしまい、北海道から運んでくるという。木を育ててみて、消費するばかりではいけないという認識も高まったという。
900435	四季・にっぽん 新緑～駒姿 初夏を駆ける 宮城・栗駒町	NHK衛星第2 10分 1995/6/13	ドキュメンタリー	宮城県栗駒町は森林が面積の7割を占める。栗駒山は5月から6月にかけて残雪が馬の形をつくる。地元の人には「駒姿」と呼び、その形でその年の農作物の出来を占ってきた。山麓は若葉の季節。栗駒山から流れ出た清流が山腹を伝っていく。三追川(さんのはざまがわ)はイワナ釣りに絶好の溪流。二追川(にのはざまがわ)では86歳の千葉さんが昔ながらの藍染め「正藍染」をしている。染め上がった布を川で洗い仕上げも昔のままという手法は国の重要無形文化財にも指定された。
900436	四季・にっぽん 新緑～奥入瀬 水清きところ 青森・十和田湖町	NHK衛星第2 10分 1995/6/14	ドキュメンタリー	青森県十和田湖町は大部分が十和田八幡平国立公園の中にある。5月半ばを過ぎると山は新緑の季節を迎える。八甲田連峰の麓、原生林に包まれる蔦温泉は、平安末期から山懐の湯治温泉として知られてきた。旅館の主人に大自然の恵みの中にある毎日や、文人・松林桂月が最後の理想の地とした大自然について聞く。奥入瀬溪流沿いの民家を訪ね、十和田湖から流れ出る140キロの奥入瀬溪流を溯る。「阿修羅の流れ」「雲井の滝」等と名づけられ、激しく流れ下る水は随所で表情を変え、その前に立つと言葉を失うという。
900437	四季・にっぽん 新緑～高原にソバまく頃 長野・戸隠村	NHK衛星第2 10分 1995/6/15	ドキュメンタリー	信州・戸隠村は、6月に新緑の季節を迎える。農作業が活気づくこの時期、戸隠名物・ソバの種蒔きが始まる。戸隠神社中社では、4月下旬から太々神楽(だいだいかぐら)が奉納されている。酪農の村でもある戸隠の牛たちは、6月1日の牧場開きを待ち焦がれ、牛の方から先に牧場行きのトラックに乗り込んでしまうという。野鳥の楽園である戸隠の森には60種類以上の鳥が生息し、様々な野の植物が花を咲かせている。竹細工職人として70年以上の原山さんと息子さんの伝統の技術を見せてもらいながら聞く話は心に響く。

放送ライブラリー公開番組＜新緑＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
900438	四季・にっぽん 新緑～ひつじ遊ぶ羊蹄山麓 北海道・ニセコ町	NHK衛星第2 10分 1995/6/16	ドキュメンタリー	ニセコ町は羊蹄山山麓の広大な自然に抱かれ、じゃがいも、とうもろこしなどを産する農業の町。蝦夷富士の名で親しまれる羊蹄山を望む畑は、6月上旬ホワイトアスパラガスの収穫の最盛期を迎える。近くの畑ではグリーンアスパラガスの植えつけが行われている。かつて羊蹄山の麓に住んだ作家・有島武郎は、1922年有島農場を小作農に開放し「生産の大もとである土地は、空気や水と同じく人間全体で使うべきもの」と宣言する。その年の大規模な工事で作られた灌漑溝は、70年余りたった今も豊かな水を運んでいる。
008696	平成古寺巡礼 声明ひびく京の山里 京都・大原	NHK衛星第2 26分 1996/6/16	教育・教養	二人の旅人が平成の眼で古寺を巡礼するシリーズ。◆落語家の桂南光さんとオカリナ奏者の宗次郎さんが新緑の季節に大原三千院を訪れる。比叡山の西の里、大原一帯の寺々の中心が三千院。瑠璃光庭の中央にある往生極楽院及び阿弥陀三尊像は藤原時代ならではの優雅さと繊細さを今にとどめ、そのまま浄土であるようだ。また大原は、天台声明の本山として様々な声明が伝えられている。あらゆる日本音楽の原点となった声明はこの山里で育まれたのだ。
016173	Let'sドーン・キホーテ 伝説の峠に幻の湿原を見た！！ ～岐阜県河合村・天生峠～	名古屋テレビ放送 25分 1996/6/26	ドキュメンタリー	全国の自然を舞台に“外遊び”の多様な楽しみ方を紹介する「アウトドアTVマガジン」。◆岐阜県河合村と白川村を分ける天生峠にようやく春の気配が訪れた6月。ここは泉鏡花『高野聖』の舞台である秘境の峠。この峠には知られざる湿原があり、しかもそこは飛騨の匠の祖・止利仏師が生まれ育った伝説の場所だという。◆雪道を抜けて湿原に向かうとミズバショウが咲き乱れていた。止利仏師を祭る祠もある。高山植物と新緑の森に囲まれた不思議な空間。プナの原生林に入っていくと、さらに大きな湿原が広がっていた。
009242	みつめよう日本 原生林の春 森が語る時空の旅 ／民放の日特別番組	テレビ東京 74分 1997/4/29	ドキュメンタリー	日本は国土の約7割が森林。新緑のこの季節、各地の美しい森を紹介し、森と共に暮らす人々の思いを伝える。◆まずは屋久島へ。ここには樹齢7200年の縄文杉をはじめ、亜寒帯から亜熱帯までの植物が分布し、まるで日本の森の宿図を見ているようだ。原生林を俳優・滝田栄が歩き、花や動物との出会いを楽しむ。また自給の農業を営む作家・星川淳氏と、人と森の関わりについて話し合う。◆そのほか西表島のマングローブの森の漁師たちや、阿寒湖周辺の針葉樹林帯に生きるアイヌ民族など、自然と共存する人々の素顔を描く。
900040	鎌倉散策 新緑の切通しを歩く	テレビ神奈川 3分 2000/5/8	ドキュメンタリー	鎌倉の隠れた魅力を地元局の視点で紹介する。◆新緑の切通しを歩く。
900487	遊Your信濃 緑ささやいて 上高地	テレビ信州 2分 2001/5/6	ドキュメンタリー	全国的に知られた観光スポットだけでなく、日常生活の中にある信州の風土や文化を紹介する。◆今回は、雪解けから新緑に向かう春の上高地の様子を伝える。
900660	21世紀に残したいみやぎの魅力100選 巖々温泉	東日本放送 3分 2001/7/28	ドキュメンタリー	視聴者に公募した「心に残る風景」や「伝統の味や技」などを毎回取り上げ、21世紀に残しておきたい「みやぎのとっておき」を紹介する。◆今回は、蔵王のふもとにある秘湯・巖々温泉を新緑の頃に訪ねた。

放送ライブラリー公開番組＜新緑＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
011809	ふるさと百景 大山ブナの森(鳥取・大山)	日本海テレビジョン放送 11分 2002/6/9	教育・教養	中国地方の最高峰“大山”(1709m)は四季折々の姿を見せる。新緑の6月、裾野に広がる西日本最大のブナ林は初夏の日差しにひととき映える。ブナは水を保持する力があり、多くの昆虫や鳥、植物が生息している。このブナにとりつかれ絵のモチーフとして取り上げている米子市の画家・田中重利さん。これまで大山のブナを描いた作品は千点にもぼる。田中さんは30年前大病を患ったが、大山に通い続け、ブナの森から元気を取り戻したという。
014988	どーんと鹿児島 復帰50年記念 奄美「春」編 生命の水はめぐる	南日本放送 47分 2003/4/3	ドキュメンタリー	奄美群島の日本復帰50周年を記念し奄美の四季を伝える。◆1回目は、3月に春を迎え萌え出る新緑の原生林と森の清流、マングローブの森が広がる河口、世界有数の美しさを誇る加計呂麻島の海をめぐる水を描く。どこまでも続く圧倒的なサンゴ群と群れなす熱帯魚の生命の鮮やかさ。この豊かな海を育む森で写真家の浜田太さんの撮影に同行、ルリカケスの子育てや、天然記念物で絶滅危惧種のオーストンオオアカゲラなどの野鳥の生活をとらえる。
201600	ラララ白山 かつ先生のふしぎ教室[6] 強くてやさしい ブナ林のひみつ	テレビ金沢 11分 2004/5/22	教育・教養	日本三名山の1つ白山の魅力を、「かつ先生」と尾張勝也さんが子供たちと共に理科の視点から伝えるシリーズ。◆今回は新緑のブナ林を訪ねる。白山麓はブナの原生林に囲まれている。「いしかわの森林50選」のひとつ鴉ヶ谷(とがたに)を訪ねた先生と子供たち。歩くと地面がふかふかになっていることに気付く。ブナの葉は地面に落ちると虫や微生物にゆっくりと分解されていく。時間をかけてふわふわになった土を握ると水が滴り落ちる。これは分解された土が雨などを貯えている証。ブナ林が「天然の水がめ」と言われるゆえんだ。
201571	四国遺産 新緑の石鎚山 光と雲、そして花々	西日本放送 12分 2006/7/16	ドキュメンタリー	四国が誇る文化、歴史、自然など「四国の至宝」を伝えるシリーズ。◆愛媛県西条市・久万高原町。西日本最高峰の石鎚山は標高1982メートル、四国山地東西100キロの頂となる山だ。日本百名山の一つ、また日本七霊山の一つでもある。最高峰の「天狗岳」、石鎚神社山頂社のある「弥山(みせん)」など複数の頂から織成される。東西南北、四季、朝夕によって様々な表情を見せてくれ、ウリノキ、ウツキ、マイヅルソウなど植物の宝庫でもある。
200192	情熱エンジン なまはげ新緑に舞う ～秋田県男鹿市 「なまはげ郷神楽」のみなさん～	仙台放送 52分 2007/5/19	ドキュメンタリー	秋田県・男鹿。大晦日と小正月に行われるなまはげだが、出刃包丁をバチに替え、雪ではなく新緑の季節に舞うなまはげがある。「なまはげ郷神楽」は16名の創作和太鼓演奏集団だ。なまはげの面を被り、なまはげのしきたりである「門踏み」のリズムを太鼓で演奏する独創性あふれるスタイル。地元の人にこそ愛してもらえる公演活動を目指し平成14年に立ち上げた。グループの活動をメインに、郷神楽の曲の原点・男鹿の自然を紹介。星辻神社宵宮祭に出演するまでを追いかける。
＜ラジオ番組＞				
R00066	ブナ坂の初夏	北日本放送 21分 1957/6/16	教育・教養	北アルプス立山の中腹にある「ブナ坂」を、二人の専門家が案内し新緑の森と繁殖期の小鳥の生態を紹介する。
R00416	RAB耳の新聞 6周年特集 はるかな森の風音	青森放送 36分 1984/6/30	ドキュメンタリー・録音 構成	目の不自由なパーソナリティ・内田利男さんがマタギの案内で白神山地のブナの原生林を歩く。森の魅力を音声で表現する。

放送ライブラリー公開番組＜新緑＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
R02562	中本賢のヨコハマガサガサ探検隊	アール・エフ・ラジオ日本 59分 2004/5/11	トーク・ワイドショー	横浜から神奈川県内のあらゆるところへ飛び出し、「発見・興奮・感動」をテーマに面白いことを徹底的に追求する番組。パーソナリティは外遊びの達人・中本賢。何だか怪しい所「ガサガサ」に隠された面白そうなことを、あらゆるフィールドで探し出し紹介する。 ◆この日は愛鳥週間にちなんで鳥の鳴き声クイズを出題。「ガサガサ情報局」ではバードウォッチング入門ということで、横浜自然観察の森の観察会を紹介。「半ズボン日記」では中本が地元・生田緑地でバードウォッチングを体験、フィールドの音も交えながらレポートする。
R03035	森を歩こう 安比高原ブナの森を歩く	IBC岩手放送 47分 2006/5/28	教育・教養	緑あざやかな5月の森。場所は岩手県八幡平市安比高原に広がるブナの森である。アナウンサーの神山浩樹と後藤貴子は梢を渡る風の音、小鳥のさえずりにわくわくしながら森に入る。森を案内するのはイートハーヴオ安比高原自然学校の校長、斉藤文明さん。ブナの木の説明、森の植物の話聞きながら、森を歩く。そして、ブナの森のエッセイの朗読を交えながら、生命力あふれる森林浴を楽しむ。
R03239	One Future, One Earth ～守られた森の声～	愛知国際放送 57分 2008/5/25	教育・教養	愛知県瀬戸市にある海上の森(かいしよのもり)。2005年の愛知万博開催が決定した際、大きな反対運動や博覧会国際事務局からの指摘で開発の手を免れた。これは日本を初め世界の自然保護活動に大きな影響を与え、象徴的な存在となり多くの人が訪れる森となった。あれから3年、この「海上の森」を、万博でインタープリターも務めた地元アウトドアタレントの鉄崎幹人が散策し、自然の美しさ、楽しさを伝えていく。ゲストに海上の森に深く関わってきた木村光伸教授を迎え、専門的な意見を聞きながら身近な環境問題を問いかける。
R20852	開店！ウメ子食堂 トノサマガエルを見つけた人！	RKB毎日放送 60分 2012/5/15	トーク・ワイドショー	今回は、冬眠から覚めて活動を始めるトノサマガエルを、リスナーと共に探していく。今は絶滅危惧種に指定されているトノサマガエル。まず環境保護活動に取り組む福岡市のビオトープを訪問、去年は来たというトノサマガエルを探す。また、北九州市の動物公園で飼育中のトノサマガエルを見せてもらいながら生態や特徴をレポートする。そこに、久留米市のリスナーから「今、目の前で鳴いている」とのメッセージが届き、電話で現場中継してもらおう。北九州市のリスナーからも「2週間前に見た」という情報があり、ラジオカーを急遽現場に向かわせる。